

学校教育計画（平成28年度～平成31年度）

学校名	舞岡高等学校	課程・学科 教育部門・学部	全日制・普通科
-----	--------	------------------	---------

1 学校のミッション

全日制普通科の高校として、生徒一人ひとりの学習や進路等の目標の実現に応えるため、学年制によるカリキュラム・マネジメントに学校全体で取り組み、学力の育成、豊かな人間性や社会性を培い、社会的・職業的に自立することをめざした学校づくりに取り組む。教育課程については、共通教科・科目を中心に、生徒の特性や地域・学校等の実情を踏まえながら、普通科として適切な編成を行う。

これまで、自立・共同・創造・開拓・実践を目標とし、伝統・文化の継承・普及に取り組んできたが、今後はさらに、自ら課題を発見し解決する力を育み、主体的に学ぶ意欲を高めることをめざした不断の授業改善の実施等、これからの時代に求められる資質・能力の育成に向けて、教育活動の充実に取り組む。

また、平成28, 29年度の2年間「逆さま歴史教育にかかる研究校」として研究開発に取り組み、その成果を地域の県立高校に様々な機会を設けて普及する。

2 学校教育目標

- ・ 生徒の資質・能力を向上させる魅力ある教育を展開し、確かな学力の向上を図る。
- ・ 規範意識を醸成し、自他の大切さを認める豊かな人間性、社会性の育成を図る。
- ・ 社会的・職業的な自立を目指し、生徒一人ひとりに応じたきめ細やかなキャリア教育の推進を図る。
- ・ 歴史・伝統文化の継承・普及と地域との共同・連携により、礼節を重んじる心と共生意識の育成を図る。
- ・ 生徒の安全、安心の確保に努め、地域に愛される学校づくりを進める。

3 計画作成時点での課題

- ・ 全日制普通科の高校として、これまでの進路実績や選択科目の履修状況等を踏まえ、生徒の学習意欲を高める教育課程の編成を図るとともに、主体的・協働的に学ぶ姿勢を育む組織的な授業改善を推進する必要がある。さらに、「逆さま歴史教育にかかる研究校」として歴史・伝統文化教育の推進を図る必要がある。
- ・ 生徒指導・支援においては、様々な事案について教員間の共通理解を図るとともに、S Cとの協働により生徒支援の充実を図る必要がある。
- ・ 70%以上の生徒が部活動に加入している現状をさらに向上させるとともに活動の充実を図る必要がある。
- ・ 「入れる大学」から「入りたい大学」へと生徒の主体的な進路希望の実現を図るためのキャリア教育を充実させる必要がある。
- ・ 全公立展、公私合同説明会などでの広報活動を一層充実させるとともに、舞岡高校の様子を県民、地域に広報する工夫が必要になっている。
- ・ 地域連携事業や奉仕活動等をさらに充実させ、共生の意識を育成させる必要がある。
- ・ 校舎の老朽化等による施設・設備の不具合を把握するとともに、災害時に備えた防災体制の充実を図る必要がある。
- ・ 個人情報の取り扱い等、事故・不祥事防止に一層努める必要がある。

4 4年間の目標と主な方策

	視点	4年間の目標	目標達成に向けた主な方策
1	教育課程 学習指導	○生徒の学習意欲を高め、育成すべき資質・能力を踏まえた教育課程編成に取り組むとともに、課題解決に向けた主体的・協働的で、能動的な学びへと授業を改革し、学びの質を高め、その深まりを重視する組織的な授業改善を行う。	<ul style="list-style-type: none"> ・教育課程編成について、生徒や地域の現状を踏まえ、各教科等と連携を取りながら推進する。 ・教科を中心としたワークグループで、「アクティブ・ラーニング」の視点からの研究授業を行うとともに、学習支援グループが研修会を企画・実施する。
2	生徒指導・支援	<p>○生徒の規範意識の醸成と基本的生活習慣の定着を図り、生徒一人ひとりの個に応じた支援体制の充実を図り、自他の大切さを認める人間性、社会性を育む。</p> <p>○生徒会活動・部活動の活性化を図り、生徒の自主性、意欲を高める。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒の規範意識向上のための取り組みを効果的に展開し、授業に集中する環境を整える。 ・多様化する生徒に対応するための教職員研修を実施するとともに、生徒の支援にあわせてSCやケース会議の有効活用を図る仕組みを構築する。 ・生徒会活動・部活動の充実を図る取り組みを推進する。
3	進路指導・支援	○「進学先の向こうにある社会」を意識させ、主体的に職業や生き方についての自覚を促すとともに生徒の希望進路が実現できるキャリア教育を行う。	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒自らが、将来の目標に向けて積極的に取り組むプログラムの一層の充実を図る。 ・模試データを活用して出願に際して、最善の選択を促すとともに個別指導や夏季講習を充実させ、一般受験に対応できる学力の向上を図る。 ・将来の適切な職業選択に向け、公共職業安定所や法律事務所等と連携した取り組みの推進を図る。
4	地域等との協働	<p>○Webページなど様々な広報媒体を使って、県民にわかりやすい情報提供に努める。</p> <p>○分教室や地域との連携事業や奉仕活動などを通して、生徒に共生の意識を育成する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・年間を通じて定期的に本校Webサイトの更新を図る。 ・カウンターをリセットして、Webサイトのアクセス統計を記録する。 ・年間を通じた地域連携や奉仕活動を実施し、定着を図る。
5	学校管理 学校運営	<p>○学習環境の整備を推し進めるとともに、災害時に備えた防災体制の充実を図り、安心・安全で信頼される学校作りを推進する。</p> <p>○個人情報の取扱いについての研修等を通じてセキュリティ危機管理意識の向上と啓発に努めるとともに、事故・不祥事防止に取り組む。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・定期的な施設点検等を行い、破損・不具合の発見・修理を行う。 ・災害時に必要な物品の整備・確認と災害時の対応策について検討を行う。 ・年間を通じて定期的に研修会を開催し、危機管理意識を高めるとともに事故・不祥事防止に向けた取り組みを行う。